

令和4年度 第1回連絡協議会

情報交換会（グループワーク）

学校部活動との連携 ～クラブの強みと弱み～

2022.09.20 p2更新バージョン
公益財団法人日本中学校体育連盟
「加盟数・加盟生徒数調査集計表」(確定値)東京都分の大幅修正がありましたので、資料を更新しました。

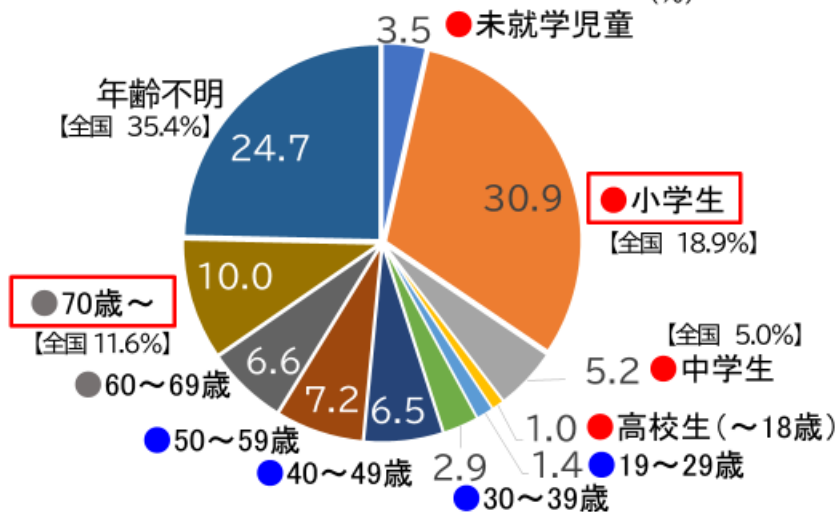
7月21日(木)
会場：主婦会館プラザエフ 〈8階スイセン〉
会場&オンライン



【状況を確認】 中学生世代に焦点を合わせる

● 世代別に会員数を見てみると

図表03 総会員数の世代別内訳 N=33,018人 (%)



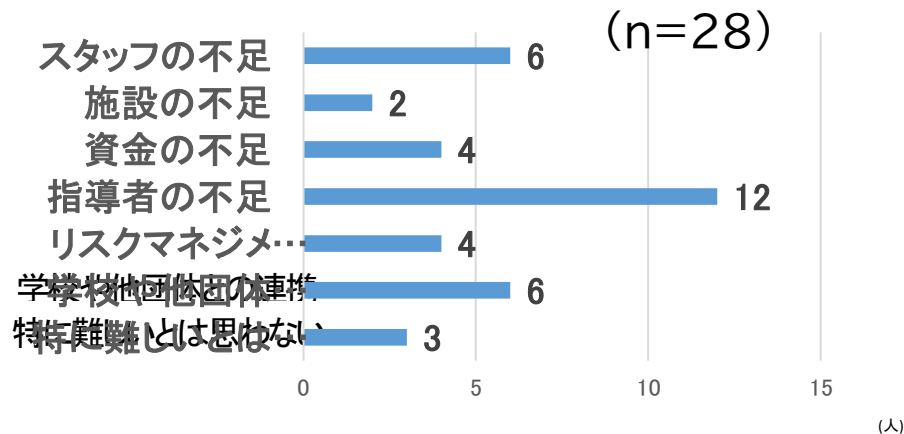
データ: 令和3年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査結果 【スポーツ庁】【スポーツ庁・東京都分】より

東京都広域スポーツセンター

12

● 連絡協議会事前アンケート

Q4.「学校部活動」と連携していくことは、難しいと感じますか。それは具体的にどんなことですか。



▼元データ修正に基づく更新済み情報 2022.09.20

● 東京都の中学校

(令和3年 都・基本統計)

国立中学校 6校
 公立中学校 608校
 私立中学校 187校

生徒数合計 311,049人

● 東京都の中学運動部活動(公立・私立)

男子

* 東京都の数値は参考競技を含む

* 28種目延5,915校(加盟生徒数98,026人)

女子

* 28種目延5,346校(加盟生徒数66,370人)

加盟生徒数合計 164,396人

* 都加盟率 52.85%

参考種目を除く加盟率の全国平均は58.82%、東京都は48.35%

データ: 加盟数・加盟生徒数調査集計表 (公財)日本中学校体育連盟

運動部活動の改革

運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

(スポーツ庁 H30.3)

生徒に望ましいスポーツ環境の構築

- 地域、学校、競技種目等に応じた形で、最適に実施
- 学校と地域が協働、融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進める



学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について

(スポーツ庁 R2.9)

- 令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図るとともに、休日の部活動の指導を望まない教師が休日の部活動に従事しないこととする。

教員の働き方改革

新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について(中教審答申 H31.1)

- 中学校における教師の長時間勤務の主な要因の一つである部活動
- 将来的には、部活動を学校単位から地域単位の取り組みにし、学校以外が担うことも積極的に進めるべき



公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案に対する付帯決議(衆・R元.11 参・R元12)

- 部活動を学校以外の主体が担うことについて検討を行い、早期に実現すること。

【改革の方向性】 地域への段階的移行

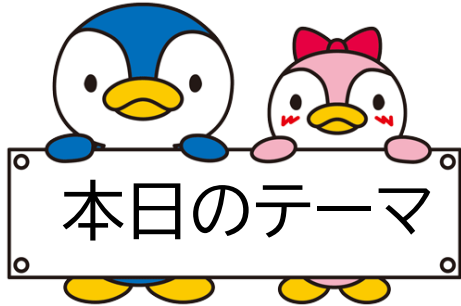
運動部活動の地域移行に関する検討会議 提言

～少子化の中、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに
継続して親しむことができる機会の確保に向けて～

(スポーツ庁地域スポーツ課 令和4年6月6日)

- まずは、**休日の運動部活動から段階的に地域移行**していくことを基本とする
- 目標時期：**令和5年度の開始から3年後の令和7年度末**を目途
- 平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組む**ことが考えられ、地域の実情に応じた休日の地域移行の進捗状況等を検証し、**更なる改革を推進**
- 地域におけるスポーツ機会の確保**、生徒の多様なニーズに合った**活動機会の充実等**にも着実に取り組む
- 地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働の推進** ※改革を推進するための「選択肢」を示し、「複数の道筋」があることや、「多様な方法」があることを強く意識

- 実施主体として多様なスポーツ団体等(**総合型地域スポーツクラブ**やスポーツ少年団、クラブチーム、民間事業者、フィットネスクラブ、大学等)を想定



学校部活動との連携 クラブの強みと弱み

- これまでも、都内の約半数の地域スポーツクラブが学校と連携して**良好な機会提供や指導者派遣等に取り組んできました**。運動部活動との連携はもとより、文化部活動や体育授業まで取り組むなど、いくつもの**好事例**があります。
- 運動部活動の**段階的な地域移行が令和5年度から実行**に移されますが、その受け皿の一つとして総合型地域スポーツクラブが候補団体に挙げられ**期待**されています。
- この(古くて)新しい学校&地域課題に対して、**クラブの「強み」と「弱み」**を議論し、**クラブはどのように向き合えば良いのか、他クラブと情報交換しクラブの「現在地」を確認**しましょう。

GW

① 簡単な自己紹介

10分

② 地域移行におけるクラブの「強み」と「弱み」

20分

③ フリーディスカッション(まとめ)

10分

40分

【グループワーク】 クラブの「強み」と「弱み」は？

段階的地域移行を前提とした「連携」を模索

	プラス要因	マイナス要因
	Strength(強み)	Weakness(弱み)
内部環境	<ul style="list-style-type: none">□□□	<ul style="list-style-type: none">□□□
SWOT分析の手法を活用して考えてみましょう		
	Opportunity(機会)	Threat(脅威)
外部環境	<ul style="list-style-type: none">● 青少年の新しいスポーツ環境の整備が求められている● 教員の働き方改革により、休日の部活動を地域に移行● 平日の部活動も段階的に地域へ移行	<ul style="list-style-type: none">● 社会情勢や経済状況の変化により、「地域」の負担が増大している。● 社会コストの増大、地域資源の限界

各クラブの特性や個性、状況により「強み」や「弱み」は異なりますが、ここでは「地域スポーツクラブ」全般をベースに考えましょう。各クラブはクラブに持ち帰って、オリジナルの「強み」「弱み」を整理し、地域の「機会」や「脅威」も加味して分析してみましょう。

【グループワーク】 進め方

	会場(LIVE)	ZOOM(ON LINE)
グループ分け	A~D (1グループ4~5人) (現在着席しているテーブル毎のグループとなります)	1~5 (1グループ5~6人) (ブレイクアウトルームに自動的に招待します。案内表示が出たらin)
役割分担	○進行役 ○メモ・記録役 ○発表役(全体会)	自発的に参画しましょう。兼務もOKです。
時 間	全体 40分 簡単な自己紹介 クラブの「強み」と「弱み」 フリーディスカッション(まとめ)	20、30分経過・残り5分 連絡・表示します ZOOMは残り2分前からカウントダウン 10分 20分 10分
全体発表	1グループ 3分 (グループでまとめた「強みと弱み」と交換した情報のエッセンス)	
その他	○卓上に用意されたA3用紙、サインペンを活用し、「強み」「弱み」を整理してください。	○ブレイクアウトルームに広域職員、専門員らが巡回訪問する場合があります。